

高森町の自然と野鳥

【自然編／第3章 動物(野鳥)】

野鳥編は図鑑としても活用できるように、町内で観察された野鳥を写真で紹介しています。高森町では、133種の野鳥が記録されていて、季節によって代わります。そこで、夏鳥、冬鳥、旅鳥、留鳥に分けて写真とともにその特徴と環境を説明しました。また外来種と、近年観察できなくなったり逆に観察するようになった野鳥も取りあげました。さらに、継続的な野鳥観察を科学的にまとめた例として、南阿蘇ビジターセンター周辺で増田泰夫様が観察された5年間の記録からわかったことを、表やグラフにしました。児童・生徒の皆さんには、ぜひ理科学習の参考にしてもらいたいと思います。そして、大好きな高森町で私が観察したデータをもとに、旧小学校区8地域に分けて観察できる可能性を一覧表にしています。最後のページに、種名から検索できる和名索引も設けています。多くの方が身のまわりの野鳥に興味を持っていただき、高森町のすばらしい環境を楽しみながら、日々の生活に活用していただくことを願います。

町内の環境は、祖母山から外輪山までの、野尻、河原、尾下、草部北部、草部南部地域に、草原や畑、林が広がり、渓流は大分県と宮崎県に流れます。外輪山内側の上色見、色見、高森地域は、畑や林、住宅地が広がり、流水は熊本県に流れます。草原は採草や野焼きで維持され、草原性のセッカやホオアカが生息します。水辺には、ヤマセミやセグロセキレイ、キセキレイなどが生息し、林には森林性のクマタカやヤマドリ・ヒガラ、ゴジュウカラなどが生息していて貴重です。住宅地には、スズメやツバメ、そして農耕地にヒバリや

キジが生息します。

「野の花と風薫る郷」高森町には、野鳥だけでなく多くの生物が息づき、町民の皆様の活動で貴重な環境が維持されています。このすばらしい環境を町の誇りにしていただき、ぜひ子どもたちの未来や町づくりにも活かしていただけるとありがたいです。

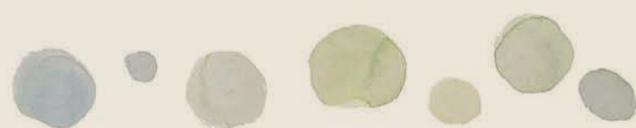
私は20代で草部南部小学校に勤務し、最後は教育委員会で高森ボイントチャンネルを通して、「大自然に生きて」や「風丸くんのホットひと息」「たからものさがし」「輝け サイエンス」などの自然番組に出演しながら、高森のすばらしさを町民の皆様と一緒に楽しませていただきました。お世話になった恩返しになればという思いも込めて執筆しましたが、身近な野鳥との出会いが皆様の笑顔につながりますと幸せです。



冬のおすすめ野鳥 ヒレンジャク(増田泰夫氏撮影)

『高森町史』は教育委員会にて販売しております。

また、町民の皆様に広くご覧いただけるよう町内公民館及び集会所に1部ずつ配備するとともに
高森町タブレット図書館で
閲覧することもできます。



自然編

■高森町史「自然編」「文化・産業編」「歴史編」はこちらのQRコードから閲覧可能です。
ID・パスワードをお持ちでない方、お忘れの方は下記担当までお問合せください。



■高森町史「自然編」「文化・産業編」「歴史編」を頒布しています。

高森町史「自然編」	A4判 上製本 フルカラー (3冊組) ケース入り	260ページ 208ページ 292ページ	3冊1組 21,700円 (税込み)
高森町史「文化・産業編」			
高森町史「歴史編」			

町史購入をご希望の方は下記担当までお問い合わせください。